

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2002-116171(P2002-116171A)

【公開日】平成14年4月19日(2002.4.19)

【出願番号】特願2000-304901(P2000-304901)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 27/12

【F I】

G 0 1 N	27/12	B
G 0 1 N	27/12	A

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月9日(2005.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般に、ガスセンサはガス漏れ警報器などの用途に用いられ、或る特定ガス、例えばC O, C H₄, C₃ H₈, C₂ H₅ O H等に選択的に感応するデバイスであり、その性格上、高感度、高選択性、高応答性、高信頼性、低消費電力が必要不可欠である。

ところで、家庭用として普及しているガス漏れ警報器には、都市ガス用やプロパンガス用の可燃性ガス検知を目的としたものと、燃焼機器の不完全燃焼ガス検知を目的としたもの、または、両者の機能を併せ持ったものなどがあるが、いずれもコストや設置性の問題から普及率はそれほど高くない。このような事情から普及率の向上を図るべく設置性の改善、具体的には電池駆動とし、コードレス化することが望まれている。